

Innovation for Cool Earth Forum 第9回年次総会 取材要領

2022年9月30日

ICEF2022事務局

1. ICEFについて

(1) 概要

- ・ 経済産業省および国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構は、2014年より毎年「Innovation for Cool Earth Forum (ICEF：アイセフ)」を開催しています。
- ・ ICEFは、世界のリーダーが一堂に会して地球温暖化対策の鍵となる「イノベーション」を推進するため、世界中の産学官のリーダーが議論する国際会議です。
- ・ 本年は、危機的状況下でも明るい未来へ前進する必要があるとして「Low-Carbon Innovation in a Time of Crises」をテーマに掲げ、産業界、学界、政府の関係者による議論が行われ、それぞれの知見が交換されるとともに、社会・技術イノベーションの最新動向について、有識者が講演を行います。
- ・ 各国の第一人者が知恵を出し合い、参加者間の議論と協力を促進し、さらに参加者だけにとどまらず、より広範囲の人々に向けてエネルギー・環境技術におけるイノベーションを発信することがICEFのミッションです。また多様化（Diversification）がイノベーションの源泉であるという認識の下、ICEFはジェンダー平等と若手世代の参画を推進します。

(2) 日程

2022年10月5日（水）～6日（木）

(3) 開催形式

会場：ホテル椿山荘東京（東京都文京区関口2-10-8）、オンライン同時配信

(4) 登壇者

各国の学术界・産業界・政府関係者

(5) 主催

経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

(6) 共催

外務省、文部科学省、農林水産省、環境省

(7) 後援機関

国際エネルギー機関（IEA）、ブルームバーグNEF（BNEF）、国際連合工業開発機関（UNIDO）

(8) ICEF ウェブサイト

<https://www.icef.go.jp/jp/>

最新の登壇者情報は「プログラム」をご参照ください。

(9) ご取材可能な事柄

- ・ プログラムのご視聴
- ・ 事後プレスブリーフィング；

日時：2022年10月6日（木）閉会式終了後 17時10分～

場所：ホテル椿山荘東京バンケット棟4階「雅」（現地参加）

Teams（オンライン参加）

※オンライン参加の場合は、チャット機能を使用しご質問を入力ください。

説明者：ICEF運営委員長・田中伸男、経済産業省産業技術環境局国際室長・小山雅臣

内容：今年のICEFの総括、およびステートメントやロードマップ草案の解説を行ったのち、質疑応答を行います。

参加費：無料です。交通費と宿泊費は参加者負担となります。

2. 当日の受付について

(1) 受付

- ・ 場所：ホテル椿山荘東京・バンケット棟3階ロビー内
- ・ 日時：2022年10月5日（水）8時00分～18時00分
2022年10月6日（木）8時00分～17時20分

(2) 当日お持ちいただくもの

- ・ 名刺
- ・ 写真付きの記者証（プレス登録の際に登録したもの。お持ちでない場合は不要です。）
- ・ 自社腕章

(3) その他

- ・ 名刺、写真付きの記者証及び自社腕章を受付にてご提示ください。
- ・ 受付にてメディア用のIDバッジをお渡ししますので、会場内では常に着用してください。また退館時には受付にてIDバッジのご返却をお願いします。
- ・ 当日は警備のためX線による手荷物検査及び金属探知機によるセキュリティーチェックを実施します。混雑が予想されますので、お早めのご来場をお願いします。
- ・ 代理の方の参加は固くお断りしております。
- ・ お荷物はバンケット棟3階のクロークにお預けください。

3. プレス控室のご利用について

(1) 場所

ホテル椿山荘東京・バンケット棟6階「あおば」

※32席をご用意しております。

(2) 利用可能時間

2022年10月5日（水）8時00分～19時00分

2022年10月6日（木）8時00分～19時00分

(3) その他

- ・ パソコン、その他機材は各自でお持ち込みください。
- ・ 無線インターネット環境および電源タップ（計32口）のご利用が可能です。
- ・ プレス控室内に各社が持ち込まれる機材等の管理は、各社の責任でお願いいたします。盗難・故障等については、主催者及び事務局では一切の責任を負いません。
- ・ 飲食は可能です。新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。
- ・ 当日出たゴミは各自でお持ち帰りください。

4. 各セッション情報

(1) 取材エリア

メイン会場（5階「椿」）、サブ会場（4階「雅」）にて取材・撮影が可能です。両会場にはメディア関係者席および撮影エリアを用意しています。

(2) 各セッション概要

開会式	
キーノート1	ファティ・ピロル IEA事務局長、田中伸男ICEF運営委員長による対談
キーノート2	ゲルト・ミュラーUNIDO事務局長のビデオメッセージ
キーノート3	フランチェスコ・ラクメラ IRENA事務局長、田中伸男ICEF運営委員長による対談
キーノート4	ラーム・エマニュエル駐日アメリカ合衆国大使の講演
プレナリーセッション1	政策イノベーション
プレナリーセッション2	取り残しのないエネルギートランジション
サマライジングプレナリーセッション	ICEF2022での全セッションの結果を概観する
テクノロジーセッション1	需要主導型エネルギー転換
テクノロジーセッション2	水素やe-fuel/e-methaneを用いた、熱及び運輸セクターにおけるカーボンニュートラル達成に向けたアクション
テクノロジーセッション3	二酸化炭素除去技術
テクノロジーセッション4	持続可能な原子力システム
テクノロジーセッション5	重要金属・鉱物の安定供給を支えるイノベーション
サイドイベント	ロードマップイベント「低炭素アンモニア」「ブルーカーボン」
サイドイベント	非CO2温室効果ガス削減
サイドイベント	UNIDO共催イベント「増大する途上国・新興国の需要に対応する公正な産業脱炭素化に向けた今後10年の促進的な取組」
サイドイベント	NEDOムーンショット型研究開発事業関連イベント「ムーンショット研究開発事業のDAC-Uシステムにおける二酸化炭素収支と将来展望」
サイドイベント	NEDOグリーンイノベーション基金事業シンポジウム「グローバルサプライチェーンから見るカーボンニュートラル」
サイドイベント	Conversation between ICEF steering committees and Youth experts
閉会式	

(3) 各セッション実施日程

<10月5日（水）>

時間	プログラム	場所
8時30分～10時30分	サイドイベント NEDOムーンショット型研究開発事業関連イベント	4階「雅」
9時30分～10時15分	開会式 キーノート1	5階「椿」
10時25分～11時40分	プレナリーセッション1	5階「椿」
11時50分～13時20分	サイドイベント ロードマップ1「低炭素アンモニア」	4階「雅」
13時35分～13時40分	キーノート2	5階「椿」
13時30分～14時15分	サイドイベント 非CO2温室効果ガス削減	4階「雅」
13時50分～15時00分	テクノロジーセッション1	5階「椿」
14時30分～16時30分	サイドイベント UNIDO共催イベント	4階「雅」
15時15分～16時15分	テクノロジーセッション2	5階「椿」
16時30分～17時45分	プレナリーセッション2	5階「椿」
17時50分～18時35分	サイドイベント Conversation between ICEF steering committees and Youth experts	4階「雅」

<10月6日（水）>

時間	プログラム	場所
9時00分～9時30分	キーノート3	5階「椿」
9時40分～10時40分	テクノロジーセッション3	5階「椿」
11時00分～12時15分	キーノート4、テクノロジーセッション4	5階「椿」
12時10分～13時10分	サイドイベント ロードマップ2「ブルーカーボン」	4階「雅」
13時30分～15時30分	サイドイベント NEDOグリーンイノベーション基金事業シンポジウム	4階「雅」
14時00分～15時15分	テクノロジーセッション5	5階「椿」
15時30分～16時30分	サマライジングプレナリーセッション	5階「椿」
16時30分～17時05分	閉会式	5階「椿」

プログラムは変更になることがあります。

詳細および最新の情報は以下サイトをご覧ください。

<https://www.icef.go.jp/jp/program/>

※会場運営の都合上、会場に入場できない場合がございますこと、予めご了承ください。

5. 取材上の注意事項について

- ・ 自社腕章と身分証明書を必ず携帯してください。
- ・ 事前登録のない方は、入場をお断りいたします。
- ・ 取材可能予定時間は、10月5日は18時35分まで、10月6日は17時40分までです。当日の取材に

つきましては、参加者や導線の妨げにならないよう注意し、事務局の案内に従ってください。

- ・ テレビカメラは、固定取材による1社1カメラとします。
- ・ テレビ放映等での実況（生放送）はお断りいたします。
- ・ メイン会場（5階「椿」）のテレビカメラの取材位置に分配器音声ライン（オリジナル言語のみ）8本（予定）を配置して音声信号を供給いたします。
- ・ プレス控室以外のホテル内の電源の使用は禁止いたします。
- ・ 登壇者への個別の取材を希望する場合は、2022年10月2日（日）23時59分までにICEF2022事務局（icef-press@convention.co.jp）にご連絡ください。主催者の許可無く、登壇者に直接取材を依頼すること及びセッション以外の場で登壇者を撮影することは禁止です。
- ・ 一般来場者の撮影・取材にあたっては、個人のプライバシーと肖像権を遵守する観点から、社名、メディア、使用目的を明示し、対象とする人物の了承を得てください。また、昼食会場での撮影・取材は一切ご遠慮ください。

6. お問い合わせ先

- ・ プログラム・内容に関する問い合わせ
経済産業省産業技術環境局総務課国際室
担当：室長・小山、課長補佐・清水
電話：03-3501-6011
- ・ 参加登録・取材要領等に関する問い合わせ
ICEF 2022事務局（日本コンベンションサービス株式会社内）
担当：芝原、中井
電話：03-5510-7656
メール：icef-press@convention.co.jp